配信日付：2026 年 11 月 26 日
配信元名：工業技術研究院（ITRI）

ITRI、産学研と連携し、6G 実証・検証拠点「6G-FORMOSA」を開設

欧州の 6G 実験ネットワークとの連携を通じ、国際協力を拡大

台湾の工業技術研究院（以下：ITRI）は、経済部産業技術司の支援のもと、国内外の産学研 18 機関と連携して構築した 6G 実証・検証拠点「6G-FORMOSA」の開設式を 20 日、新竹市の中興院区で開催し、台湾独自の 6G 技術および国際共同検証の成果を披露した。

6G-FORMOSA は、台湾で独自に開発された 6G の基盤技術、機器、システムを統合した実験ネットワークである。ネットワーク運用管理センターを通じて、通信・センシング融合（Integrated Sensing and Communication：ISAC）、高効率・省エネルギー、インテリジェントネットワーク、3GPP 準拠の非地上系ネットワーク（NTN）、マルチ軌道衛星通信の 5 つの技術分野を一元管理し、技術開発からシステム統合、実環境での実証・検証までをワンストップで実施できる試験環境を提供する。これまでに 20 社の技術検証を支援しており、台湾独自の 6G 技術の製品化と国際市場への展開を後押ししている。

ITRI 情報・通信研究所の丁邦安所長は、「6G の開発は、先端技術の研究段階から、システム統合、国際標準化、実環境での実証・検証へと移行しつつある」と述べた。B4G（Beyond 4G）時代の台湾では、実験ネットワークの構築に海外製機器が主に使用されていたが、今回の 6G-FORMOSA では、PEGATRON Corporation（和碩）、Qisda グループの Alpha Networks（明泰）、Foremostar Technology（濰元）などの企業と連携し、台湾独自の技術を結集。異なるメーカーの機器を相互に接続し、複数の企業が共同利用できる 6G 実験ネットワークを構築した。これにより、国内企業による試験環境の重複整備に伴うコストを削減するとともに、技術開発・検証期間の短縮を図り、台湾製 6G 機器の製品成熟度と国際競争力の向上を目指す。

また、台湾独自の技術と国際的な技術開発との連携を加速するため、ITRI は今回初めて、米国 VIAVI Solutions およびスペインのマラガ大学（Universidad de Málaga：UMA）の技術と検証能力を導入した。Chunghwa Telecom（中華電信）、Compal Electronics（仁寶）、REIGN Technology（智宏網）、INTAI Technology（鐿鈦）、Ataya Networks（泰雅）などの台湾企業と協力し、6G-FORMOSA の実験ネットワークを活用して、「6G 通信・センシング融合基地局による低高度ドローン検知」と「非地上系ネットワーク（NTN）を利用した衛星通信のエンドツーエンド検証」の 2 件の国際共同検証を完了した。これらの成果は、台湾独自の機器と海外の技術を統合し、台湾国内の実環境で検証を実施する能力の向上を示すものとなった。

国内外の産業界や研究機関の参画をさらに促進するため、ITRI は「6G-FORMOSA」

の公式ウェブサイトを開設した。同サイトでは、実験ネットワークの構築状況、技術検証環境、共同研究の成果、共同プロジェクトの公募情報などを継続的に公開し、国内外の企業、大学、研究機関が最新の検証リソースや協力機会を把握できるようにする。ITRI は、半導体チップ、アンテナ、基地局、コアネットワーク、衛星地上設備、AI ネットワークソフトウェア、システムインテグレーションなどに携わる国内外の 6G 関連企業に対し、6G-FORMOSA を活用した研究開発や技術検証への参加を呼びかけている。今後は、オープンな検証サービスをさらに拡充し、台湾産業向けの技術検証環境から、国内外の産学研機関が共同で研究開発、試験、検証を実施する国際協力プラットフォームへと発展させる方針である。

今後、ITRI は 6G-FORMOSA を中核として、英国のブリストル大学（University of Bristol）と連携し、英国の国家レベルの実験ネットワーク「JOINER」との相互接続を推進する。また、キーサイト・テクノロジー（Keysight Technologies）と協力し、EU の「6G-SANDBOX」プロジェクトの一環としてスペイン・マラガに設置された実験ネットワーク「Victoria Network」との接続を進め、6G 技術の研究開発と国際協力をさらに強化する。

さらに、英国の TITAN やオランダ応用科学研究機構（TNO）などの研究機関との連携も引き続き深化させる。国際実験ネットワークの相互接続、遠隔試験、国境を越えた共同検証を通じて、台湾企業の取り組みを個別機器の試験から、国際的なシステム統合や実環境での検証へと段階的に拡大するとともに、国際的な 6G 研究開発プロジェクトや標準化活動への参画も積極的に推進していく。

また、台湾経済部が 2027 年に推進する台湾・EU 間の 6G 共同研究開発プロジェクトの公募に向けて、ITRI はこれまでに構築した国際協力ネットワークを活用し、欧州の企業、大学、研究機関と共同チームを編成する計画である。6G 半導体チップ、AI 駆動型無線アクセスネットワーク（AI-driven Radio Access Network：AI-RAN）、通信・センシング融合などの 6G 基盤技術の研究開発と検証に取り組み、台湾企業の国際的な 6G エコシステムへの参入を加速させることで、台湾が世界の 6G 主流技術の開発における戦略的パートナーとなることを目指す。

【当記事に関するお問い合わせ】
工業技術研究院 マーケティングコミュニケーション室
吳艾芸（Annie Wu Ms.）
+886-3-5918406
aiyunwu@itri.org.tw